



写真1 西側石垣 立面



写真2 東側石垣 立面



写真3 西側石垣 土層断面

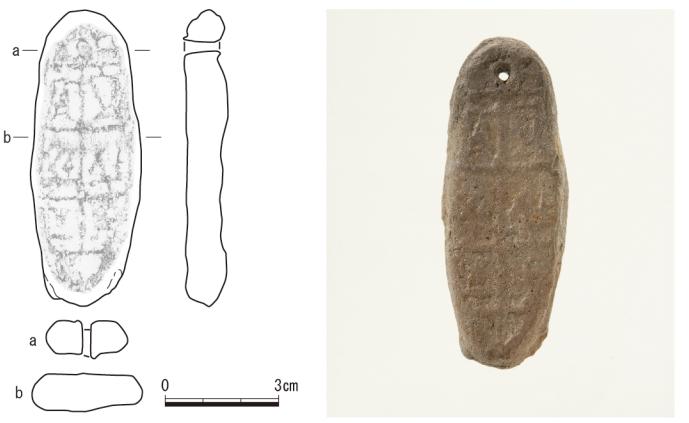


図4 丁銀形土製品 (S=1/2)

写真4 丁銀形土製品

姫路城城下町跡

—姫路城跡第334次発掘調査報告書—



「森重」と書かれた鉄瓶

報告書抄録							
ふりがな	ひめじょうじょうかまちあとーひめじょうあとだい334じはっくつちょうさほうこくしょー						
書名	姫路城城下町跡—姫路城跡第334次発掘調査報告書—						
シリーズ名	姫路市埋蔵文化財センター調査報告						
シリーズ番号	第35集						
編著者名	福井 優						
編集機関	姫路市埋蔵文化財センター						
所在地	〒671-0246 兵庫県姫路市四郷町坂元 414番地1 TEL (079) 252-3950						
発行年月日	平成28年(2016年)3月31日						
所収遺跡名	ふりがな所在地	コード	北緯	東経	調査期間	調査面積	調査原因
ひめじょうじょうかまちあと 姫路城城下町跡	ひょうごけんひめじし 兵庫県姫路市 あさひまち 朝日町56番	28201	020169	34° 49' 54"	134° 41' 28"	2015.5.8 ~ 2015.5.22	35.8m ² 共同住宅 建設工事
所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	遺跡調査番号		
姫路城城下町跡	集落跡	江戸時代	堀、石垣	近世陶磁器・土製品	20150042		

例言

- 本書は、姫路市朝日町に所在する姫路城城下町跡(県遺跡番号 020169)第334次調査の発掘調査報告書である。
- 発掘調査は、姫路市朝日町56番における共同住宅建設工事に伴い、有限会社FELICEと委託契約を締結し、姫路市が実施した。現地での発掘調査は、姫路市埋蔵文化財センター福井 優が担当した。
- 発掘調査と報告書作成の費用は、有限会社FELICEの負担による。
- 発掘調査は、平成27年5月8日から同年5月22日にかけて実施した。調査面積は、35.8 m²である。
- 本書の編集・執筆および遺構・遺物の写真撮影は福井が行った。
- 本報告にかかる調査の記録、出土遺物などは、すべて姫路市埋蔵文化財センターで保管している。
- 発掘調査・報告書作成に際して、下記の方々にご援助を頂きました。記して感謝申し上げます(敬称略)。

有限会社FELICE、森重、寺本祐子、三輪悠代

凡例

- 発掘調査で行った測量は、世界測地系(測地成果2000)に準拠する平面図直角座標系第V系を基準とし、数値はm単位で表示している。
- 本書で用いる標高は東京湾平均海面(T.P.)を基準とし、使用する方位は世界測地系の座標北である。
- 本書に掲載した地形図は、国土地理院発行の2万5千分の1地形図(姫路南部)・同(姫路北部)および姫路市基本地形図を使用した。
- 遺構の略称は、以下のように呼称している。SP:柱穴・小穴
- 遺構・土層等の呼称は、整理に際して変更したものもある。
- 土層の色調は、小山正忠・竹原秀雄編2003『新版 標準土色帳 25版』日本色研事業株式会社に準拠した。

姫路市埋蔵文化財センター調査報告 第35集

姫路城城下町跡—姫路城跡第334次発掘調査報告書—

編集 姫路市埋蔵文化財センター
〒671-0246 兵庫県姫路市四郷町坂元 414番地1
発行 姫路市教育委員会
〒670-8501 兵庫県姫路市安田四丁目1番地
発行日 平成28年(2016年)3月31日
印刷・製本 松尾印刷株式会社
〒671-0222 兵庫県姫路市別所町小林494

2016

姫路市教育委員会